科目番号	59022	分類	専門科目 環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	放射線看護学 （ Radiological Health Sciences ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○明石　眞言　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 放射線の健康影響に関する最新の知見を整理したうえで、わが国の医療被ばくの現状や原子力事故に係る問題等を概観し、放射線保健に関する諸課題と、それに対する具体的なアプローチについて学ぶ。 【目標】 1. 放射線の健康影響に関する科学的知見の現状を理解する。 2. 放射線保健の今日的課題を把握する。 3. 放射線防護、被ばく管理のための具体的アプローチを習得する。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
	○	6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	放射線保健の考え方 放射線・放射能の物理学 線量概念と被ばく線量評価	明石 他１名
第２回	放射線の健康影響・リスク	
第３回	放射線被ばくの実態と防護方策	
第４～15 回	コロキウム ①文献抄読 ・環境衛生学 ・環境保健学 ・環境化学　に関する文献 ②15 分レクチャー 特定の課題について 15 分間でプレゼンテーションし、ディスカッションを行う	

事前・事後学習	事前学習：放射線医療の実態、日本世界のエネルギー政策等について理解しておく。 事後学習：放射線保健・放射線看護に対する自らの考え方を明確にし、看護師としての役割を考慮し。これを実践できるよう努める。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	抄読会への出席状況および文献抄読および 15 分レクチャーの内容・プレゼンテーションにより評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	授業の都度、必要な資料を配布する。
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。